

《ラ行》

	植物名等	分類	内容による分類	内容	回答
1	ライラック	庭木	剪定	剪定方法は？	普通は2～3本植えに(別植)して、剪定は自然な感じで仕立てる。冬の間には花芽を確認、不要枝を整理し、花後に強い剪定をする。
2	ラベンダー	ハーブ	剪定	剪定する時に古いものと新しいものを一斉に切っても良いか。	株を込み入らせない為に古いものを優先的に切り、新しいものを残して株を風通しの良いようにした方が良い。
3	ラミウム	草花	育て方	育て方	有機質が多い湿った場所で夏の日差しを防げる所が良く、つる状にどんどん伸びるのでさし葉で増殖する。3～6月に化成肥料を施すと良い。
4	ラン	洋ラン	育て方	ランはどのように管理したら良いか	1. 一年を通じて管理した結果、花が咲く。 2. 花後、植替えをして水やり・肥料・置場所と気をつければ、それ程気を使わなくても必ず花は咲く。 3. 持参の鉢は、まず植替えをする。今すぐでも良い。
5	ランタナ	庭木	増やし方	挿木はいつ頃が良いか。	枝が伸びている時期で、6～7月がよくつきます。
6	ランタナ	庭木	育て方	植えたばかりで10cm位。冬は室内に入れなければダメか。	鉢植えにして5～6年経ち、茎の太さが直径2～3cmになれば、冬でも日当たりの良い南側に置いて冬越しできる。10cm位ではまだ無理なので室内に取り込んだ方が良い。
7	リンゴ	果樹	剪定	花芽がつかない	短果枝を多く持つよう、枝を下にしぼり横開きになるように剪定する。肥料はカリの多いものを施す。
8	リンゴ	果樹	診断	鉢植えにピンポン球位の美味しいリンゴが出来る。だんだん実つきが悪くなってきた。	1. ピンポン球位ならヒメリンゴと思われる。 2. 実つきが悪くなる原因は根詰まりと、剪定の仕方。日当たりの良い充実した枝を残すようにする。 3. むやみに剪定するのは良くない。
9	ルコウソウ	草花	育て方	まき時期と育て方	5月中旬～下旬に吸水させてまく。定植6月中旬。管理は適当につるを間引く。肥料を多く与えると花がつかない。

10	ルコウソウ	草花	育て方	種をもらってまいたらよく発芽した。手入れの仕方は。	ルコウソウはアメリカ原産のつる性一年草 つるが絡めるように支柱を立て、肥料は控えめにやり、日当りの良い所で育てる。
11	ルコウソウ	草花	育て方	ツルの成育は良いが花が咲かない。	ツル性のものは、窒素肥料が多いとツルばかり伸びて花芽を持たない。リン酸肥料を施すか、ツルの勢いが止まるのを待てば、やがて花が咲くようになる。
12	ルコウソウ	草花	育て方	昨年蒔いたらよく花が咲いた。取っておいたものをまきたいが、いつが良いか。	夏の花なので、4月下旬以降に鉢に蒔き、間引きや移植で、丈夫な苗にして植えれば小さい花が長く咲きます。
13	レッドロビン	庭木	病虫害(防除)	生垣に虫がついたが、どうしたら良いか。	イラガが相当数発生しているとのことなので、殺虫剤(マラソン・スミチオン)を散布すれば駆除できる。
14	レッドロビン	庭木	その他(樹種)	レッドロビンの垣根、ひどい病気で枯れそう。他に植え替えられるものはないか。	レッドロビンは褐斑病やごま色斑点病に弱い。日本産のベニカナメモチの方が病気には強い。
15	レッドロビン	庭木	病虫害(防除)	葉に斑点が出来、落葉して枯れる。防除法を知りたい。	ごま色斑点病。病斑葉を摘除焼却する。肥料を施し、生育状態を良くする。新葉展開後、トップジンM、ベンレートなど殺菌剤を散布して防除する。
16	ロウバイ	庭木	剪定	剪定はいつ頃が良いか。挿木で繁殖するか。	剪定はあまりしない。花が咲くまでは、不用枝や徒長枝を切り戻す。花の咲くものは花後、葉芽を残して切る。挿木はつかないので実生して接木をすると親と同じ花が咲く。
17	ローズマリー	ハーブ	増やし方	挿木の方法	10mくらいに切り、水あげして鉢か箱ざしする。土は赤玉土、日陰で水を切らさないように管理する。
18	ローズマリー	ハーブ	診断	植えて10年、最初は花が咲いたが、その後全然咲かない。土が酸性とか栄養不足か。	1. 花が咲くか咲かないかは陽当りと剪定によって決まる。 2. まんべんなく摘むのではなく、一部残しておけば必ず咲く。
19	ローズマリー	ハーブ	育て方	どのように植えたら良いか。	一般的な植え方で良い。土作りをして元肥をやり、水は最初充分かけ、後はやり過ぎないように注意して育てる。